

科目名	ファッションビジネス理論と演習 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により修得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。  
「ファッションビジネス能力検定3級」合格を目指す。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。  
ファッション商品知識をマップにより学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ファッションとは/ファッション業界とは	31	ショップ企画
2	自己分析	32	ショップリサーチ報告
3	ファッション商品の流れ	33	ショップリサーチ報告
4	自己マップ製作	34	ショップ運営報告
5	自己マップ発表	35	ライフスタイルとファッション
6	オケーションマップ	36	第2章まとめ
7	ファッション小売業と店舗	37	トレンド感性マップ
8	オケーションマップ	38	アパレル産業の概要
9	お客様とは	39	トレンド感性マップ
10	オケーションマップ	40	ファッション小売業の概要
11	マップ発表	41	トレンド感性マップ発表①
12	アイテム知識	42	ファッション小売業の概要
13	繊維ファッション産業の流れ	43	トレンド感性マップ
14	アイテム知識	44	ファッション小売業の概要
15	アイテム知識	45	トレンド感性マップ
16	ファッションビジネスの流れ	46	ファッション小売業の概要
17	アイテム知識確認テスト	47	トレンド感性マップ
18	ファッションビジネスの歩み	48	第3章まとめ
19	アイテム知識	49	トレンド感性マップ
20	ファッションビジネスの歩み	50	マーケティングの基礎知識
21	アイテム知識	51	トレンド感性マップ発表②
22	ファッションビジネス最近の傾向	52	マーケティングの基礎知識
23	アイテム知識	53	マーケティング演習&第4章まとめ
24	ショップ企画	54	マーチャンダイジングの基礎知識
25	第1章まとめ	55	マーチャンダイジングの基礎知識
26	アイテム知識確認テスト	56	企画生産販売の流れ
27	テスト	57	第5章まとめ
28	トレンド感性マップ	58	流通とは
29	ショップ企画	59	第6章まとめ
30	トレンド感性マップ	60	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

辞典:ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

教①:菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社

教②:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[ I ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

教③:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売[ I ]訂正版 ファッション販売能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

【教材・教具】

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集』

科目名	ファッションマーケティング&プランニング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	新家章秀

**【科目の到達目標】**

前期のゴールとして、プレゼンテーションで「ショプリサーチ報告」としてブランドの説明と売れている理由、そしてさらに売れる提案をおこなえるようになること。後期については前期でリサーチしたブランドをもとに「新しいマーケット発掘で新ブランドの提案」をゴールとします。

**【科目の概要】**

アパレル業界の基礎知識をショプリサーチにて実践に近い内容でマーケティングを学びます。前期では、アパレルメーカーの内部環境の強み、弱みを中心に学び、後期は、アパレル業界を取り巻く外部環境も含め、チャンスとピンチを考えて新しいマーケットを見つけて売れる新ブランドを考えてもらいます。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期		後期
1	・アパレル業務フロー		16	・前期フィードバック
2	・マーケット4Pについて		17	・SWOT分析とマクロ環境
3	・VMDと店舗什器配置、客導線、AIDMA		18	・異業種からの参入
4	・SKU展開 プライスレンジ		19	・業態と業種(ビジネス形態)D2C
5	・売上分解の運用(客単価と購買客数)		20	・流行をキャッチする(らせん的發展の法則)
6	・RFM分析と顧客の囲い込み		21	・新業態オフプライスストアとアウトレット
7	・トレンドキーワードとパレートの法則		22	・コロナ禍でも好調なアパレルメーカー
8	・川上・川中・川下、ファストファッション		23	・コンセプトとポジショニングマップ
9	・プロダクトアウトとマーケットイン		24	・ブランドのライフサイクル
10	・SPAブランドとセレクトショップ		25	・ブランドのコロナ禍での対策
11	・出店立地と出店戦略		26	・ランチェスター戦略、ブランディング・ペルソナ
12	・現状の海外生産の状況		27	・プレゼンテーション1日目
13	プレゼンテーション1日目		28	・プレゼンテーション2日目
14	プレゼンテーション2日目		29	・プレゼンテーション3日目
15	プレゼンテーション3日目		30	・後期・通期フィードバック

**【成績評価方法】**

プレゼンテスト50%、提供課題40%、授業態度10%

**【教科書・参考書】**

学生のレベルと授業の進み具合により、内容を微調整しプリントを作成し配布

**【教材・教具】**

プリントを配布

科目名	服飾実習 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	180	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムから構造や製作工程を理解することができ、理論を技術に結びつけられる。

【科目の概要】

ファッション業界は洋服の知識を持った人材を必要としている。  
本科目では、製図から縫製までを一貫して製作することにより、服作りの工程・素材・構造等を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1,2,3	授業説明・縫製用具の理解 ミシン・アイロンの使い方・基礎縫い準備	46,47,48 パンツの概論・バリエーション
4,5,6	基礎縫い	49,50,51 パンツの製図・トワール組・縫い代つけ (各自サイズの製図)
7,8,9	基礎縫い・採寸	52,53,54 パンツの製作
10,11,12	スカートの概論・バリエーション	55,56,57 パンツの製作
13,14,15	スカートの製図・トワール組・縫い代つけ (各自サイズの製図)	58,59,60 パンツの製作
16,17,18	スカートの製作	61,62,63 パンツの製作
19,20,21	スカートの製作	64,65,66 パンツの製作
22,23,24	スカートの製作	67,68,69 パンツの製作
25,26,27	身頃ダーツ操作・襟・袖のバリエーション	70,71,72 ワンピースの製図・縫い代つけ・トワール組
28,29,30	台襟付長袖シャツの製図・縫い代つけ・トワール組	73,74,75 ワンピースの製作
31,32,33	台襟付長袖シャツの製作	76,77,78 ワンピースの製作
34,35,36	台襟付長袖シャツの製作	79,80,81 ワンピースの製作
37,38,39	台襟付長袖シャツの製作	82,83,84 ワンピースの製作
40,41,42	台襟付長袖シャツの製作	85,86,87 ワンピースの製作
43,44,45	台襟付長袖シャツの製作・まとめ・テスト	88,89,90 ワンピースの製作・まとめ・テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版  
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版  
『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ワンピース』・『パンツ』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

科目名	ファッションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	小西祐司

**【科目の到達目標】**

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてファッション商品をプロデュースするための基礎を養成することを目標とする。

**【科目の概要】**

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習  
現在、流通しているファッションやファッションデザインの歴史を整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	ファッションデザインのもと1 エレガントとスポーティ		16 ジャケットのデザイン1 「ジャケットの変遷」
2	デザイン演習		17 ジャケットのデザイン2 「ジャケットの種類」
3	ファッションデザインのもと2 モダンとフォークロア		18 ジャケットのデザイン3 「ジャンパーの種類」
4	デザイン演習		19 デザイン演習
5	スカートのデザイン1 「スカートの变遷」		20 デザイン演習
6	デザイン演習		21 コートのデザイン1 「コートの種類」
7	スカートのデザイン2 「ドレスの変遷」		22 デザイン演習
8	ファッション画の基礎		23 フットウェアのデザイン1
9	シャツ・ブラウスのデザイン1 「襟」		24 フットウェアのデザイン2
10	シャツ・ブラウスのデザイン2 「袖」		25 アクセサリー 帽子のデザイン
11	デザイン演習		26 バッグのデザイン
12	パンツのデザイン 1		27 デザイン演習 (トータルコーディネート)
13	パンツのデザイン 2		28 デザイン演習 (トータルコーディネート)
14	デザイン演習		29 デザイン演習 (トータルコーディネート)
15	デザイン演習		30 まとめ

**【成績評価方法】**

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

**【教科書・参考書】**

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』  
WWDジャパン『WWD』

**【教材・教具】**

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	ファッションドローイング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	実習80% 講義20%
時間数	60	作成者	高木義隆
<b>【科目の到達目標】</b>			
デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。			
自ら考えたコンセプトに適した表現でデザイン画にできる。			
<b>【科目の概要】</b>			
ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画（視覚化）を制作するために絵画的な基礎（理論・技術）の習得・応用を目的とする。			
<b>【授業計画】</b>			
90分/コマ	前期		後期
1	オリエンテーション（デザイン画の目的）	16	デザイン画選手権作品制作
2	クロッキー①右脳で描く（記号的認識の排	17	メンズデザイン画①（テーラード）
3	クロッキー②（比率・プロポーションアナ	18	メンズデザイン画②（テーラード）
4	デザイン画ヌードボディ①（直立）	19	生地・素材の表現①（デニム素材）
5	デザイン画ヌードボディ②（片足重心）	20	生地・素材の表現②（デニム素材）
6	ヌードボディへの着装	21	クロッキー① クロッキーガイダンス
7	絵の具の扱い・グラデーション	22	クロッキー② 人物クロッキー①
8	ヌードボディへの着彩	23	クロッキー③ 人物クロッキー②
9	着装デザイン画①	24	クロッキー④ 人物クロッキー③
10	着装デザイン画②	25	クロッキー⑤ 顔のプロポーション
11	コピックによる量感とディテール表現	26	クロッキー⑥ 顔のクロッキー
12	ディテールの入ったデザイン画	27	クロッキー⑦ 人物クロッキー（9頭身）①
13	遠近法と柄の描き方	28	クロッキー⑧ 人物クロッキー（9頭身）②
14	柄の入ったデザイン画制作（着彩）	29	クロッキー⑨ ヌードクロッキー（試験）
15	デザイン画選手権作品考案	30	クロッキー⑩ デザイン画制作
<b>【成績評価方法】</b>			
出席10% 試験30% 課題60%			
<b>【教科書・参考書】</b>			
『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社			
<b>【教材・教具】</b>			
スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類			
ファッション雑誌など			

科目名	コンピュータ演習Ⅰ[A] オフィス系	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	太田景子

【科目の到達目標】

プロデュース業務に必要なオフィス系ソフトウェアで文書や表、プレゼンテーション等の基本的なデータ作成ができる

【科目の概要】

パソコンの基本操作を理解し、Word、Excel、PowerPointの操作とデータ作成技術を習得する  
Googleドライブとアプリケーション（ドキュメント、スプレッドシート、スライド）およびスマホとの連携などを習得する

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス、PCスキルチェック		16 * Excel 書類作成
2	PC基本操作		17 ・ワークシートやブックの作成と管理
3	* パソコン用語とインターネット		18 ・セルやセル範囲のデータの管理
	* セキュリティとパスワード		19 ・数式や関数を使用した演算の実行
	* メール / ドライブ / クラウド		20 ・グラフやオブジェクトの作成
4	* 基本操作とデータの保存場所		19 * PowerPoint 書類作成
	・右クリック、ドラッグ&ドロップ		20 ・プレゼンテーションの作成と管理
5	・Tabキー、ページ内検索		21 ・テキスト、図形、画像の挿入と書式設
	・すべて選択、複数選択、範囲選択		22 ・表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入
6	・ファイルやフォルダのコピーと移動		23 ・画面切り替えやアニメーションの適用
	・ショートカットアイコンの作成		24 * Word、Excel、PowerPointの連携による書類作成
7	・シングルクリックとダブルクリック		25 Googleアプリケーションの操作と共有
	・キーボードのホームポジション		26 Word、Excel、PowerPointとの共通点と違い
8	・タッチタイピングの学び方(ローマ字入力一覧)		27 Googleドキュメント
	・ファンクションキー、FNキーの使い方		28 Googleスプレッドシート
9	・NumLockキー、CapsLockキー		29 Googleスライド
10	Word、Excel、PowerPointの操作		28 画像編集アプリとの連携
	* Word 書類作成（文書の作成と管理）		29 テスト
11	・文書を作成（新規文書/テンプレート/外部データ挿入）		30 まとめ
	・文書内を移動（検索・ハイパーリンク・ブックマーク）		
12	・文書の書式を設定（ページ設定/テーマ/スタイル/他）		
	・文字、段落、セクションの書式設定		
13			
14	テスト		
15	まとめ		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

PDFを配布

【教材・教具】

パソコン、スマートフォン

科目名	PC演習 I -B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松木 麻衣

**【科目の到達目標】**

アパレル業界において必要となる、illustrator・Photoshopの基礎技術を持った人材の育成。

**【科目の概要】**

illustrator・Photoshopを活用し、実践的な資料作成の技術を学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	<b>【illustrator】</b> ・線、図形の書き方		16 <b>【企画立案】</b> イメージMAPを作成する
2			17
3	・オブジェクトの操作を変形		18 <b>【絵型作成】</b> ハンガーイラストを作成する
4			19
5	・オブジェクトの配置と合成		20
6			21 <b>【プリント図案】</b> プリント柄を作成し、指示書を作成する
7	・塗、線		22
8			23
9	・便利な機能		24 <b>【縫製仕様書】</b> illustrator/Excelで縫製仕様書を作成する
10			25
11	<b>【Photoshop】</b> ・基本的な操作方法		26
12	・簡単な色調補正とレタッチ		27 <b>【下げ札】</b> 商品に付ける下げ札をデザインし、指示書 を作成する
13	↓		28
14			29
15	前期試験		30 後期試験

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

プリントを配布

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	プロダクトベーシック	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	杉山佳美

**【科目の到達目標】**

デザイン活動には、大別して4大要素がある。「カラー」「マテリアル」「フォルム」「コンセプト」  
ファッションデザインに関わる上で、必要不可欠な基礎知識、基礎技術の習得を目指し、色彩検定3級相当の学習を圧縮して理解する事を目標とする。

**【科目の概要】**

デザイン制作の基礎知識としての、「色彩」=カラーリングと、「立体」=フォルムの用語や分類法を習得する。  
色彩分野では、色の属性分類、配色のバリエーションから、視覚的効果、心理的効果等に及ぶ。  
立体分野では、基本的な造作の方法論、立体の分類、バリエーションの展開を実践する。

**【授業計画】**

90分/コマ

- |    |    |                                  |
|----|----|----------------------------------|
| 1  | 色彩 | 「色彩とは」 道具類の説明 3原色で初めての色だし        |
| 2  | 色彩 | オリジナルカラーカード制作 色の分類               |
| 3  | 色彩 | 配色(色彩計画) 2色・3色配色 補色              |
| 4  | 色彩 | 色の三属性とトーン概念                      |
| 5  | 色彩 | 2ポーズ配色のスタイル画(モノトーンのバリエーション)①     |
| 6  | 色彩 | 2ポーズ配色のスタイル画(モノトーンのバリエーション)①     |
| 7  | 色彩 | ファッションのイメージ配色①(ロマンチック・ソフト・フェミニン) |
| 8  | 色彩 | ファッションのイメージ配色①(ロマンチック・ソフト・フェミニン) |
| 9  | 立体 | 「立体とは」 レリーフ制作(山折り・谷折り 直線)        |
| 10 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線)                 |
| 11 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線)                 |
| 12 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線)                 |
| 13 | 立体 | レリーフ制作(バリエーション展開)                |
| 14 | 立体 | レリーフ制作(バリエーション展開)                |
| 15 |    | 期末試験(90分)                        |

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

デザインの色彩、適宜プリントを配布

**【教材・教具】**

教科書、PC、モニター、配布プリント、絵具類、スケッチブック、ファッション雑誌、スティックのり  
B4ケント紙、カッターナイフ、カッター版、定規類、コンパス、カネダイン(接着剤)、メンディングテープ



科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。  
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。  
 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション  
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について  
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維一綿  
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維一麻  
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維一毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維一絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年  
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッションプロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	前期	後期
		1 ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 2 古代ローマ～ルネサンス 3 エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知 4 バロックとロココ 5 メンズファッションの起源 6 マリーアントワネット：革命と失脚 ベルエポックとレ・ザネ・フィル 7 オートクチュールの誕生 8 世界恐慌とファッションの復興 9 19～20世紀 フランス：オートクチュールからプレタポルテ 10 19～20世紀 ロンドン：パンクムーブメント 11 19～20世紀 イタリア：GUCCIとハイブランドの変遷 12 19～20世紀 アメリカ：ヴィンテージファッションの特徴と判別 13 20世紀 日本国内のトレンド：DCブランド～KAWAIIカルチャー 14 21世紀 情報化社会 サステイナブルと新時代の消費 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60% 実習 40%
時間数	30	作成者	衣笠節子

**【科目の到達目標】**

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につける。  
卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていく。美しい立ち居振る舞いを習得しワンランク上の人材を目指す。

**【科目の概要】**

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成し、マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習する。きちんとした立ち姿や、笑顔でメリハリのある話し方について楽しく身につける。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指す。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期
1	ビジネスマナーの必要性 (マナーチェックシート)
2	インターネットのモラル (SNS拡散の影響 著作権侵害など)
3	挨拶の重要性和心のこもったおじぎ (おじぎの実技練習)
4	基本の自己紹介・面接対策 (第一印象にかかわる基本)
5	言葉以外のコミュニケーションの手法 (アイコンタクト・表情・発声・発音)
6	基本の姿勢 身ごなし (確認テスト)
7	グループワーク (美点凝視)
8	敬語の種類と使い方 (立場に応じた言葉づかい)
9	接遇用語の基本・面接時のマナー (クッション言葉・婉曲表現・面接対策)
10	言葉づかい実践 (1分間スピーチ)
11	ビジネス実務 (会社に関する基礎知識・名刺交換)
12	受付・案内のマナー (受付のマナー・エレベーターのマナー)
13	電話対応のマナー・メールのマナー (就職活動での電話・メールのマナー)
14	修業テスト (総復習・質疑応答)
15	コミュニケーションスキルアップ (会話を広げるアプローチ話法)

**【成績評価方法】**

提出課題・スピーチの評価60% ・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%  
以上を指導要項に基づいて総合的に評価する

**【教科書・参考書】**

田野直美 著『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

**【教材・教具】**

随時 プリントを配布

科目名	英語 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	小川彩美

**【科目の到達目標】**

2年次のフィレンツェ研修に向けて、現地での授業で積極的にコミュニケーションを取るための英語を習得する。挨拶・自己紹介ができる。日常的なフレーズを使った短文を使いこなせる

**【科目の概要】**

海外の人と臆することなく話せるように、会話練習を行う。  
プレゼンテーションで、人前で自分の意見や想いを伝えることができるようにする。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション		16 前期の復習
2	英文法基礎		17 自己紹介・他己紹介発表
3	英文法基礎		18 長文読解
4	自己紹介の練習		19 長文読解
5	他己紹介		20 長文読解に関する意見発表
6	Yes-No疑問文		21 英文法の復習
7	5W1H疑問文		22 英文法の復習
8	ディスカッション		23 グループ・ディスカッション
9	ディスカッション		24 グループ・ディスカッション
10	ペア・プレゼンテーション		25 ペア・プレゼンテーション
11	ペア・プレゼンテーション		26 ペア・プレゼンテーション
12	グループ・プレゼンテーション		27 グループ・プレゼンテーション
13	グループ・プレゼンテーション		28 グループ・プレゼンテーション
14	総まとめ		29 総まとめ
15	期末試験		30 期末試験

**【成績評価方法】**

提出物評価(授業内での英語での会話対応)60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

プリントを配布

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	授業開講時期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80%
時間数	60	作成者	上田 久美子
<b>【科目の到達目標】</b>			
各種イベントにおける発表作品の制作、見学、研修等の内合わせ、データ作成、発表を行う。			
<b>【科目概要】</b>			
ファッション・プロデュースコースの年間イベントの内容に沿って作品、データ等を作成する。			
<b>【授業計画】 前期</b>		後期	
1 プレタ展 準備		16 上安祭 準備	
2 プレタ展 準備		17 上安祭 準備	
3 プレタ展 準備		18 上田学園コレクション 準備	
4 プレタ展 準備		19 上田学園コレクション 準備	
5 プレタ展 準備		20 上田学園コレクション 準備	
6 プレタ展 準備		21 上田学園コレクション 準備	
7 プレタ展 準備		22 上田学園コレクション 準備	
8 上安祭 準備		23 上田学園コレクション 準備	
9 上安祭 準備		24 上田学園コレクション 準備	
10 上安祭 準備		25 上田学園コレクション 準備	
11 上安祭 準備		26 上田学園コレクション 準備	
12 上安祭 準備		27 次年度プレタポルテ展 準備	
13 上安祭 準備		28 次年度プレタポルテ展 準備	
14 上安祭 準備		29 次年度プレタポルテ展 準備	
15 試験またはプレゼンテーション		30 試験またはプレゼンテーション	
<b>【成績評価方法】</b>			
・課題作品 60% ・授業態度10% ・テストまたはプレゼン30%			
<b>【教科書・参考書】</b>			
<b>【指定用具・器具】</b>			
パソコン 筆記具など			